(一財)日本建築総合試験所
建築技術性能証明　評価シート

【技術の名称】 CUW工法 ー山留め壁の応力材と後打ち鉄筋コンクリート造壁を構造的に一体化させた壁体工法ー（改定1）	性能証明番号：GBRC 性能証明 第 02-13 号 改 1 性能証明発効日：2025 年 3 月 11 日 【取得者】 西松建設株式会社、株式会社安藤・間、 佐藤工業株式会社、株式会社フジタ、 三井住友建設株式会社

【技術の概要】

本技術は、山留め壁の構造要素である形鋼材（H 形鋼または I 形鋼）と後打ち鉄筋コンクリート造壁（地下外壁または擁壁）を、形鋼材のフランジ面に溶接した接合要素（頭付きスタッド）によって一体化し、壁体として利用する技術である。

本技術の特徴は、形鋼材と後打ち鉄筋コンクリート造壁の剛性に基づく両者の離間判定を行い、それぞれが独立した曲げ抵抗部材と見なせる場合（“重ね壁”と称す）と、両者が一体の曲げ抵抗部材と見なせる場合（“合成壁”と称す）の２通りの設計法が用意されていることである。

【改定の内容】

新規：GBRC 性能証明 第 02-13 号（2002 年 9 月 3 日）
改定 1：GBRC 性能証明 第 02-13 号 改 1（2025 年 3 月 11 日）

- 設計施工指針に以下を追加
  - 短期荷重に対する設計方法
  - 立上り壁と基礎スラブの接合部分（以下、“隅角部”と称す）に関する設計方法
  - 山留め壁応力材の位置がずれた場合の補強方法
- 申込者の変更（7 社から 5 社（いずれも 2 社が合併により 1 社））

【技術開発の趣旨】

本技術は、従来、仮設としてのみ用いられている山留め材の構造要素である形鋼材と後打ちの鉄筋コンクリート造壁とを合成させて地下外壁あるいは擁壁に利用することにより、壁体の設計の合理化を図るとともに、形鋼材の有効活用を図ろうとするものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「CUW 工法　設計施工指針」に従い設計・施工された重ね壁あるいは合成壁は、常時や地震等の短期時の土水圧などの側圧荷重を受ける地下外壁として、同指針で規定する各荷重時の要求性能を満足する。

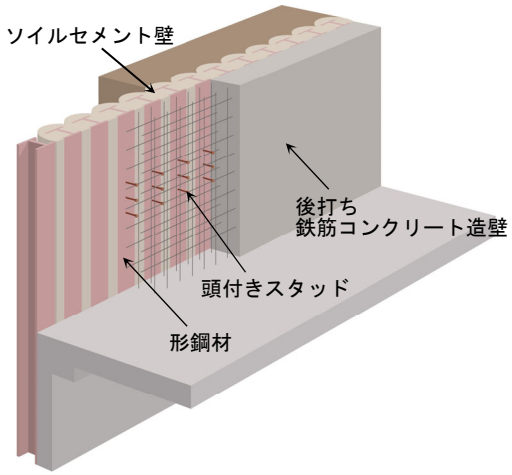
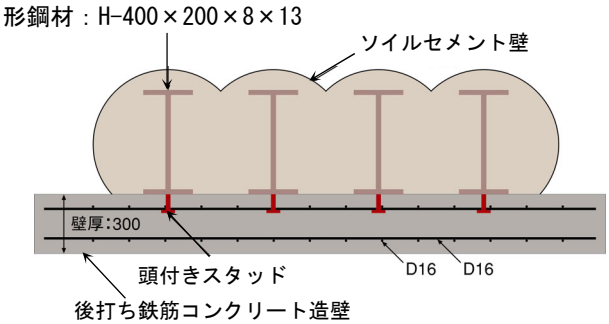


図-1　全体外観



水平断面

図-2　ＣＵＷ工法による地下外壁の例

【本技術の問合せ先】

安藤建設株式会社 担当者：根本 恒 E-mail：fvgv0182@mb.infoweb.ne.jp 〒356-0058 埼玉県ふじみ野市大井中央 1-19-61 TEL：049-267-3524 FAX：049-266-6035／佐藤工業株式会社 担当者：出水 俊彦 E-mail：Demizu@satokogyo.co.jp 〒103-8639 東京都中央区日本橋本町 4-12-19 TEL：03-3661-7046 FAX：03-3661-1269／西松建設株式会社担当者：新井 寿昭 E-mail：toshiaki_arai@nishimatsu.co.jp 〒105-8401 東京都港区虎ノ門 1-20-10 TEL：03-3502-0263 FAX：03-3502-0228／株式会社間組 担当者：八重樫 光 E-mail：kyae@hazama.co.jp 〒105-8479 東京都港区虎ノ門 2-2-5 TEL：03-3558-5817 FAX：03-3558-5825／株式会社フジタ 担当者：佐藤 幸博 E-mail：ysato@fujita.co.jp 〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5 ソニックシティビル 17F TEL：048-657-1631 FAX：048-657-1494／三井住友建設株式会社 担当者：能森 雅己 E-mail：mnou@smcon.co.jp 〒104-0051 東京都中央区佃 2-1-6 TEL：03-4582-3115 FAX：03-4582-3233